

たけの子と  
出会って

■たけの子との出会い  
たけの子とは娘が他の幼稚園に通っている頃に出会いました。

出会ったと言っても知り合いの方にチラシを貰い、色々活動してるよ〜と伺ったくらいだったので。

その当時通っていた園での初めての(子どものみ)遠足の日に娘は現地に到着するまで、「バスの中でずっと大泣きしていた。」と聞いていたので、たけの子の事は気になりながらも、バスで毎日米沢に通うのは無理だろうなと思いついて数年が経っていました。

しかし、やはり縁とは思えないもので、娘は年中さんの10月からたけの子でお世話になっていました。

初めの頃は自分のペースと違ったり、嫌な事があるとすぐ固まってしまう娘でしたが、今では小さい子達の面倒を見たり、自分の意見も言えるようになって来たみたいです◎

## ■たけの子での毎日

春夏秋冬を感じて…冬は雪遊び、夏は川でライフジャケットを来て遊ぶ。秋には戸塚山の上まで歩いて登ったり…。たけの子まつりでもクリアする課題は【その子その子が決めた回数だったり方法】だったり。誰かが決めた物をやらせる、や、人と比べる、がない。【自分が自分の決めたチャレンジ】をただ頑張れたらそれでいいのです。

月2回の給食には包丁も使います。

自分達で揚げ物もします。  
朝の会は焚き火を囲んで、だったり、田植えに稲刈り、味噌作り、野菜作りに…あげたら数えきれない。

現代には『させない事が守ること。』と言うような風潮もありますが、たけの子は体験を通して怖さも知る事が出来ます。怖さを知れば気をつけ方も学べます。もちろん怖いと言っても大事に至らないようにスタッフの方に見守られながらなので、危なくはありません。

禁止が多い世の中。でも娘はたけの子という場所に出会えた事で『体験の中からたくさん宝物を見つけた』と思います。そして『出来る喜び』を幾度となく感じたのではないのでしょうか？

娘は工作が好きです。  
今日はこれを作りましようと思われた課題をこなすのではなく、ある物を駆使し、ないものは作り出しながら創造する作業を思う存分させて貰えるたけの子で、就学前の時間を過ごす事が出来た事を親の私も本当に幸せに思います。

## ■親も育つ

そして、私のたけの子が大好きな理由がもうひとつ。『お母さん達の傾聴の時間』です。

ここに行き着くまでの代表理事の辺見さんの経緯が本当に嬉しくて。

辺見さんは口下手で、プレゼンが上手いとは言えない方ですが(悪口ではありません)。

表面に見えている量の倍も三倍も愛情深い方です。

ついつい、『保育園の運営』と聞くと保育園に人がどうやったら園児がくるか？(子ども達にとってと言うより親受けとか、自分たちの作



焚火を囲んで朝の会

業が増えないようにとか色々な物が見え隠れするよ  
うなイメージがありますが。)

辺見さんは『子ども達がどうしたらよくなるのか一生懸命考えたけど、そして色々な所で学んで実践していたけど、やはり子どもが帰る場所は親御さんなんだ。だから親御さんの心や体が元気になる為に何かする必要があるって感じて、傾聴の時間を作る事にしようと思っんです。』と話してくださったのが一年前。今年度からお母さん同士が安心安全な場を約束しながら、心を開いて交流ができていると私は感じています。(だから父兄間のトラブルも皆無)

ただただ、子ども達を思えばこそ。辺見さんがなにかをする時の動機はいつもそれなんです。

そこに戦略的なものは何もありません。  
そんな子どもも思いで、不器用だけど愛の溢れた辺見さんとスタッフさん達が作る【たけの子】を、よりたくさんの子とも達と共に育ちたい親御さん達に知って貰いたいと願いながら、出会えた感謝の気持ちをしめたいと思います。

一年半の間、親子共々本当にありがとうございました。◎  
これからもよろしくお願ひいたします◎

卒園児保護者 八代貴美子

## 寄付や支援をいただいた方々1月順不同

支援金 渡部鋭幸様 松島由美様

認定こども園めぐたま様 大室知加子様

日本キリスト教団小平学園教会様

竜田サトシ様 住吉圭子様

太田敦之様 佐藤謙二様

本とお菓子 チョージウン様